

2019 学年度

学校評価 結果報告書

学校法人金剛学園

金剛学園中・高等学校

2019 学年度 金剛学園中・高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の在学生在の中で、お互いの文化や背景を尊重しながら国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できるような学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる "輝く学校" を目指し、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目標としている。

《4Gで躍進する金剛人》

- ◆ 国際社会に適応出来るグローバル人材の育成 (Global)
- ◆ 正しい品性・人格を持った人間力と豊かな金剛人づくり (Goodness)
- ◆ 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成 (Greatest)
- ◆ 最適な教育環境の創出と幸せな学校づくり (Glitter)

2. 中期的目標

1. 国際人 (Global)

- ① 国際社会に適応出来るグローバル人材の育成
- ② 韓・日・英語の三つの語学力の向上とトリリンガルの創出
- ③ 多様な文化を体験することによる国際理解教育の実現
- ④ 多彩な "特化プログラム" の実践とグローバル人材の育成

2. 道徳人 (Goodness)

- ① 正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり
- ② 礼儀正しく、規則を守ることでできる基本的生活習慣の涵養
- ③ 学校行事や集団活動を通じ、社会生活に必要な協調性等を習得
- ④ 地域社会と共生する教育共同体の構築

3. 実力人 (Greatest)

- ① 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成
- ② 生徒のニーズに合わせた少人数教育の実現
- ③ 自ら学ぶ姿勢を養う授業及び持続的な研究と専門性の向上
- ④ 情報化社会に対応出来る教育内容の充実化と授業の改善

4. 輝く学校 (Glitter)

- ①教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出
- ②学校事務サービスの向上と情報公開
- ③HP やフェイスブックを通じた迅速な告知活動
- ④安全教育の推進と防犯グッズや設備の充実化

3.本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
国際社会に適応できるグローバル人材の育成	授業における語学力向上	<p>【韓国語】 1クラスを3つに分(中学) 1クラスを4つに分班(高校)</p> <p>【英語】 1クラスを2つに分班(中3)</p> <p>【日本語】 海外からの入学生に対し国語の授業をすべて分班</p>	韓国語能力試験、英検、日本語能力検定試験などの結果及び、定期考査の結果などを指標とする。	各検定に対する対策については授業を中心にいき、直前には補習し、合格率を高める努力をしている。 また検定受験に対しても担任及び教科担当が積極的に促すことで、受験者数も増加している。その結果、実用英語検定協会から表彰された(2年連続) ・2019年英検結果 2級:6(7%)、準2級:7(8%) 3級:13(15%)、4級:11(12%) ・2019年TOPIK結果 1級:20(17%)、2級:23(20%) 3級:6(5%)、4級:16(14%) 5級:7(6%)、6級:12(11%)
	生きた外国語を身につける	<p>【韓国語】 夏季、冬季 韓国短期語学研修(中高) 韓国の姉妹校への3カ月短期留学(高2)</p> <p>【英語】 ニュージーランド夏期短期留学(高校)</p> <p>セブ島英語キャンプ(中学、高校1・2年)</p>	定期考査の結果及び、検定試験への取り組み状況、帰国後の該当教科への学習意欲、アンケート調査などから総合的に判断。 ニュージーランド留学は高校2年生が2名、1年生が1名参加。 セブ島は参加者なし	語学研修及び留学に関心を持っている生徒が多く、広報活動の成果もあり、積極的な参加がみられた。 事前学習もしっかりなされ、現地での学びも大きいと感じられる。ただ、研修・留学後のフォローが足りない面があり改善が必要である。
	異文化交流を通じ、母語と母国語の重要性を知る	<p>【韓国語】 韓日中の異文化交流イベント「アラン21」への参加</p>	全体参加者 74名中、本校中学生9名、高校生11名が参加 韓国語学習意欲の向上	・韓日学生間の実質的な交流による相互理解の向上及び相互交流の機会促進 ・日本地域文化体験及び探訪機会を提供

2 正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり	礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を守れる力を養う	ハイタッチ挨拶運動 毎月ハイタッチ挨拶週間を設け、クラブ生、生徒会を中心に、ハイタッチをしながら挨拶をし、挨拶の大切さを意識させる。	登下校の際だけでなく、普段の学校生活において、生徒自ら挨拶できるようになる	概ね自ら挨拶することができるようになり、学級活動や学校行事において友人間のトラブルを軽減することができた。
		登校指導 毎朝、登校時間に正門にて身だしなみの指導と同時に礼節指導	礼節・身だしなみを正すことで授業姿勢やトラブルを未然に防ぐ	礼節・身だしなみについて登校時に指導することで、校則を守る習慣が身についてきた。
		遅刻指導 月ごとに遅刻回数をポイント制にし、遅刻の軽減に向けて指導	担任が常時生徒の遅刻状況を確認し、アプローチをかけることで軽減につなげる	担任からのアプローチで遅刻が軽減したケースもあったが、特定の学年・生徒の遅刻が増え続け、年間を通して遅刻数は増加した。
		全体集会 月初めの土曜日に全体集会を開催し、金剛学園の生徒としての誇りを持たせる為の講話や生徒会が決めた月間目標を発表	金剛学園生としての在り方を講話し、生徒一人一人の自尊心を向上させる。 全体としての目標を共有する	年間を通して目標を掲げ、金剛学園の生徒としての意識を向上させることができた。 また、生徒会からの新しい取り組みも増え、生徒たちが主体となって集会を進めつつある。
体験学習や集団活動を通じて、社会生活に必要な協調性や謙虚さを学ぶ	定期的に学年・学校全体を通して、ともに活動する機会を設け、コミュニケーション能力の向上、人間関係の形成、協調性を育むための機会を設定する。	各活動後に必ずアンケートをとり、生徒の満足度を図り、次の活動に生かす	4 月始業式に生徒間がコミュニケーションを図るきっかけとなっている。	
	4 月:始業式 クラスメイトとのコミュニケーションを図る「学級目標づくり」 4 月:新入生宿泊オリエンテーション 入学生が一日も早く学校生活に慣れるための行事	学年の枠を超えた活動をすることで、コミュニケーション能力を高める 社会生活に不可欠な「協調性」の育成	今年度はじめて新入生宿泊オリエンテーションを実施したが、学校の仕組みやルールをじっくり学ぶとともに親睦が図れるよいきっかけとなった。	
	11 月:「言葉の伝え方」 1 月:旧正月 旧正月行事として韓国の伝統的な遊びの体験		11 月には高1と中 2、高 2 と中 3、高 3 と中1と学年の枠を越えた交流を通して、言葉の大切さを考えることができた。 クラスや学年の枠を越えた活動を通して、日頃から会話をする様子や上級生が下級生の世話をする姿なども見られるようになった。 災害時などではこのような関係が生かされることが 2018 年度に立証済みであるため、今後も継続していきたい。	

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
3 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成	教師の授業力を高める	<p>新学年度教職員研修 2019 学年度の方針共有 学校間の枠を越えた交流 小中高一貫授業の推進</p>	<p>校内研修及び外部講師を通して授業力の向上に努める。</p>	<p>新学年度スタート時に教職員研修を実施することで、教師間の意識統一や親睦を通して、チームワークを高めることができた。</p>
		<p>外部研修へ積極的に参加し各教科の授業力向上に努める</p> <p>週一時間の教科会議 教科内で授業対策などを検討</p>	<p>教科会議で情報交換を行い、授業の質を高める。</p> <p>年2回授業満足度を実施し、生徒の満足度を確認し、教師の意識改善・授業改善を図る。</p>	<p>今年度は夏季休暇中などを利用して積極的に外部研修に参加することができ、外部の情報収集をすると共に教師力を高めることができていた。</p> <p>教科会議では密に話し合いができ、特に数学科では小中高連携授業などにも取り組むことができた。</p>
		<p>生徒による授業満足度調査を実施し、教師力・授業力向上に努める。</p> <p>「語学力アップ委員会」の発足と積極的な研究</p>	<p>韓国語、日語、英語の3教科の主任たちがメンバーになり、語学力を上げるためのプロジェクトを企画する。</p>	<p>授業満足度調査結果から授業が生徒にどのように評価されているのかを知ることができ、教師自身が振り返り授業改善する資料として有効的である。</p> <p>韓国語の校内弁論大会をはじめとする様々な企画を行い、3教科教師による発表をするなど、情報共有及び学校全体で語学力を上げるためのシナジー効果を得ることができた。</p>

4 教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出	生徒たちの安全確保のため、危機管理委員会を設置し、危機管理体制を強化する	火災訓練 訓練一週間前から、火災が起きた場合を想定したALを各学年に実施	事前学習としてALを取り入れ、訓練に危機感をもたせた	前回の教職員アンケート（反省）を職員会議にて共有し、生徒だけでなく教員も、訓練のための訓練にならないよう意識して取り組むことができた。
		SNS対策 中高全体でSNSについて学ぶ	SNSにおいて、人を傷つける、あるいは道徳的に不適切な動画を上げてはいけないことを学ばせる	AI面接を題材にこれからの情報化社会について知り、SNSの使用方法について学んだ
		学校危機管理 中学生対象に学校危機に関する内容を実施。その後、アンケート、感想文	自分の身は自分で守るため、校内だけでなく登下校時の危機管理まで考えさせる	不審者の心理や、行動が起きる環境などを学び、命の大切さを周知させた。

4. アンケート実施時期と回答率

対象	実施日	回答/回答率
中学	2019年12月17～19日	44名/52名 回答率84.66%
高校	2019年12月17～19日	42名/43名 回答率97.7%
保護者	2019年12月17～19日	中学 26世帯/52世帯 回答率50.0%
		高校 31世帯/43世帯 回答率72.15%
教師	2019年12月17～19日	22名/22名 回答率100%

2019学年度 学校評価アンケート結果

【中学生】

実施日:2019年12月17~19日

対象生徒数:52名中44名の回答(回答率:84.66%)

		とても 思う	やや思う	思う	やや 思わない	とても 思わない
1	学校生活は楽しいですか	34.1	34.1	20.5	6.8	4.5
2	目標を持って学校生活が送れていますか	21.4	33.3	23.8	16.7	4.8
3	韓国語(日本語)が上達している実感がありますか	15.9	31.8	29.5	20.5	2.3
4	英語が上達している実感がありますか	14.0	18.6	39.5	23.3	4.7
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	20.5	40.9	27.3	6.8	4.5
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	22.7	31.8	43.2	2.3	0.0
7	先生の授業はわかりやすいですか	13.6	34.1	34.1	18.2	0.0
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	13.6	34.1	31.8	15.9	4.5
9	計画的に家庭学習ができていますか	9.1	22.7	31.8	18.2	18.2
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	13.6	20.5	45.5	15.9	4.5
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	34.1	25.0	27.3	11.4	2.3
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	16.3	30.2	20.9	20.9	11.6
13	しっかりと挨拶ができていますか	38.6	22.7	34.1	2.3	2.3
14	学校生活の決まりを守っていますか	18.2	36.4	20.5	22.7	2.3
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	15.9	11.4	27.3	11.4	34.1
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	31.8	29.5	22.7	13.6	2.3
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	20.5	18.2	27.3	18.2	15.9
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	20.9	16.3	32.6	16.3	14.0
19	部活動は活発だと思いますか	25.0	15.9	31.8	15.9	11.4
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	27.3	22.7	38.6	9.1	2.3

*数値はすべて%

【高校生】

実施日:2019年12月17~19日

対象生徒数:43名中42名の回答(回答率:97.7%)

		とても 思う	やや思う	思う	やや 思わない	とても 思わない
1	学校生活は楽しいですか	23.8	19	35.7	11.9	9.5
2	目標を持って学校生活が送れていますか	16.7	11.9	31	31	9.5
3	韓国語(日本語)が上達している実感がありますか	4.8	28.6	35.7	19	11.9
4	英語が上達している実感がありますか	2.4	11.9	40.5	19	26.2
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	26.2	9.5	40.5	16.7	7.1
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	17.1	12.2	56.1	14.6	0
7	先生の授業はわかりやすいですか	2.4	14.3	54.8	26.2	2.4
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	7.1	16.7	54.8	9.5	11.9
9	計画的に家庭学習ができていますか	7.1	7.1	21.4	26.2	38.1
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	2.4	11.9	52.4	23.8	9.5
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	19	7.1	52.4	14.3	7.1
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	2.4	14.3	40.5	19	23.8
13	しっかりと挨拶ができていますか	31.7	22	31.7	12.2	2.4
14	学校生活の決まりを守っていますか	31	26.2	31	9.5	2.4
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	9.8	26.8	22	29.3	12.2
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	33.3	19	26.2	14.3	7.1
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	19	7.1	45.2	19	9.5
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	4.8	14.3	42.9	19	19
19	部活動は活発だと思いますか	14.3	11.9	45.2	16.7	11.9
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	11.9	9.5	47.6	21.4	9.5

*数値はすべて%

【中学生の保護者】

実施日:2019年12月17~19日

対象生徒数:52名中26名の回答(回答率:50.0%)

		とても 思う	やや思う	思う	やや 思わない	とても 思わない
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	48	32	16	4	0
2	学校はホームページでよく情報を発信している	46.2	34.6	15.4	3.8	0
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	57.7	30.8	7.7	3.8	0
4	子どもは韓国語(日本語)・英語の語学力が向上している	26.9	30.8	23.1	7.7	11.5
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	11.5	30.8	46.2	11.5	0
6	子どもは明るく学校生活を送っている	53.8	30.8	7.7	3.8	3.8
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	46.2	30.8	19.2	3.8	0
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	42.3	42.3	7.7	0	7.7
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	23.1	50	19.2	3.8	3.8
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	26.9	46.2	23.1	3.8	0
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	23.1	42.3	26.9	3.8	3.8
12	授業はわかりやすいようだ	7.7	26.9	50	7.7	7.7
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	34.6	23.1	30.8	11.5	0
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	34.6	26.9	34.6	3.8	0
15	学校の進路指導は適切に行われている	19.2	23.1	42.3	11.5	3.8
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	26.9	23.1	30.8	15.4	3.8
17	部活動は活発である	15.4	26.9	34.6	19.2	3.8
18	生徒会活動は活発である	7.7	38.5	42.3	11.5	0
19	学校は事故の防止に配慮している	16	44	36	4	0
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	15.4	42.3	23.1	15.4	3.8

*数値はすべて%

【高校生の保護者】

実施日:2019年12月17~19日

対象生徒数:43名中31名の回答(回答率:72.15%)

		とても 思う	やや思う	思う	やや 思わない	とても 思わない
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	38.7	32.3	25.8	3.2	0
2	学校はホームページでよく情報を発信している	33.3	33.3	30	0	3.3
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	58.1	25.8	6.5	3.2	6.5
4	子どもは韓国語(日本語)・英語の語学力が向上している	41.9	29	19.4	3.2	6.5
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	38.7	35.5	16.1	6.5	3.2
6	子どもは明るく学校生活を送っている	45.2	25.8	16.1	9.7	3.2
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	45.2	22.6	25.8	3.2	3.2
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	48.4	22.6	19.4	3.2	6.5
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	41.9	32.3	19.4	0	6.5
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	35.5	41.9	12.9	6.5	3.2
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	32.3	38.7	16.1	9.7	3.2
12	授業はわかりやすいようだ	19.4	32.3	38.7	6.5	3.2
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	35.5	32.3	22.6	3.2	6.5
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	32.3	35.5	22.6	3.2	6.5
15	学校の進路指導は適切に行われている	19.4	45.2	22.6	9.7	3.2
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	19.4	32.3	32.3	3.2	12.9
17	部活動は活発である	13.3	36.7	33.3	6.7	10
18	生徒会活動は活発である	16.7	30	30	16.7	6.7
19	学校は事故の防止に配慮している	25.8	32.3	29	6.5	6.5
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	33.3	33.3	26.7	0	6.7

*数値はすべて%

【教職員】

実施日：2019年12月17～19日

対象生徒数：22名中22名の回答（回答率：100%）

		とても 思う	やや 思う	思う	やや 思わない	とても 思わない
1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	0	50	27.3	22.7	0
2	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	4.5	72.7	9.1	13.6	0
3	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	4.5	36.4	50	9.1	0
4	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動がされている。	18.2	36.4	27.3	13.6	4.5
5	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	40.9	36.4	4.5	13.6	4.5
6	学校の予算、決算の収支について理解している。	0	31.8	54.5	9.1	4.5
7	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	36.4	45.5	9.1	4.5	4.5
8	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策は十分とられている。	22.7	63.6	9.1	0	4.5
9	地域や地域住民との交流ができています。	4.5	22.7	27.3	22.7	22.7
10	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	13.6	63.6	9.1	9.1	4.5
11	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	4.5	45.5	36.4	13.6	0
12	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	36.4	45.5	13.6	4.5	0
13	生徒の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	9.1	31.8	45.5	13.6	0
14	主体的な生徒会活動をできるように指導し、支援している。	4.5	54.5	36.4	4.5	0
15	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	0	18.2	40.9	27.3	13.6
16	部活動は活発である。	4.5	40.9	18.2	36.4	0
17	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	45.5	40.9	9.1	0	4.5
18	生徒の生活指導をする組織的な体制があり、一貫した生徒指導を行っている。	27.3	36.4	22.7	9.1	4.5
19	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	45.5	36.4	9.1	9.1	0
20	学習習慣の定着を指導する体制があり、生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	4.5	63.6	22.7	9.1	0
21	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	13.6	27.3	36.4	18.2	4.5
22	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような情報提供と支援体制がある。	13.6	22.7	40.9	18.2	4.5
23	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	4.5	18.2	59.1	9.1	9.1

24	初任者等、経験の少ない教員を学校全体で支援する体制がある。	9.1	22.7	40.9	9.1	18.2
25	教員が計画的に校内・外の研修を受ける体制が整っている。	40.7	9.1	27.3	18.2	4.5

2019学年度 学校評価アンケート結果の分析と対策

【生徒からのアンケートで特に評価の低い項目】

<対 策>

質問番号	項目	思わない	
		中学	高校
2	目標を持って学校生活が送れていますか	21.5	40.5
3	韓国語(日本語)が上達している実感がありますか	22.8	30.9
4	英語が上達している実感がありますか	28	45.2
7	先生の授業はわかりやすいですか	18.2	28.6
9	計画的に家庭学習ができていますか	36.4	64.3
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	20.4	33.5
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	32.5	42.8
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	30.3	38
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思えますか	11.4	30.9

*数値はすべて%

<分 析>

中高で特に評価の低い項目は、皮肉にも本校が強みとして打ち出している項目とほぼ一致している。まずこの事実を目を向けることから始めたい。その項目は以下の6項目である。

- 1) 主体性<質問番号 2・9>
目標を立て、計画して行動を促す力の不足。
- 2) 語学力<質問番号 3・4>
語学を強みにしているにもかかわらず、生徒が上達している実感をもっていない生徒が3割強。
- 3) 授業力<質問番号 7・10>
授業がわかりにくいという生徒が中学で2割弱、高校で3割弱。学力を伸ばしてくれと感じていない生徒は中学で2割強、高校で3割強。
- 4) カウンセリング力<質問番号 12>
生徒の3割から4割が先生に相談しやすいとは思っていない。
- 5) 進路指導力<質問番号 18>
生徒の3割から4割が進路に関する進路指導に満足していない。
- 6) 人間育成力<質問番号 20>
中学では1割、高校では3割以上の生徒が自分を育ててくれる場所とは思っていない。

主体性、語学力、授業力、カウンセリング力、進路指導力、人間育成力の6項目が本校の特に評価の低い項目であることがわかった。そこで次の通り、対策をとることにしたい。

- 1) 目標を立て、計画し、行動する力を身につけさせるために
全教員が「7つの習慣」のファシリテーターになり、教員自身がPDCAを実践する資質を持つ。その上で「7つの習慣」を生徒に伝え、第2の習慣である「終わりを思い描くことから始める」をもとに目標を設定し、フォーサイト手帳と連動させて年間、月間、週間の目標へと落とし込み、毎日の朝礼で目標確認、プランニング、終礼で振り返りと1日に3回以上手帳を活用して、習慣化させる。
- 2) 語学力が身につけていると生徒が実感できるようになるために
各言語の教員は原則校内ではその担当言語で会話し、各言語のゴールを設定(第2の習慣)した上で、語学に対する夢と希望を失わない情熱のこもった授業を意識し、また授業の楽しさと学力を身につけることの両立を意識する。プロとしての目的意識をもって、目標と進捗にコミットし、振り返りを怠らないようにし、生徒のカルテをつくる(2020学年度の取り組み目標の一つ)ことによって、成長の数値化を意識する。
- 3) 授業がわかりやすい、学力が伸びたと生徒に感じさせるために
自分の授業をビデオに撮って確認する。自己客観視できる機会と他者からの指摘によるブラッシュアップを怠らないために、「教師塾」を開催しプロ教師及び管理職による洗礼を受ける。授業を管理職が毎日巡回し、寝ている生徒の放置及び、プロ意識に欠ける言動がないかチェックし、指導する。そもそもこの項目にコミットできない場合は教師である資格がないことを意識し、自覚するところから始める。
- 4) 生徒が「相談しやすい教員」になるために
相談しやすい教員とはどんな教員なのか、教員がプロとしてバランスよく持たなければならない資質として授業力と人間力が挙げられるが、この項目は後者である。数値化されにくい点であるが、授業力と同じか場面によってはそれ以上に重要な項目であるため、この分野での資質向上は、上記の「教師塾」によって授業力とともに「7つの習慣」でいうところの第5の習慣である「まず理解に徹し、そして理解される」を研修時レベル以上に掘り下げることによって、対策とする。
- 5) 生徒が「進路についての相談機能が充実している」と感じるために
第2の習慣「終わりを思い描くことから始める」を教師自身が実践できていない最もわかりやすい例が今回の結果である。入口、中身、出口で言えば、出口にコミットできていないのが本校ということになる。それを自覚した上で、2020学年度は進路指導のプロをスカウトした。プロが仕事をPDCAサイクルでまわし、結果にどのような手法でコミットするのかを学ぶと同時に、全教員がそのプロセスと「7つの習慣」との関連性を意識し、体系的にそれらを学ぶ機会を設ける。(プロ教師による教師塾の実施)
- 6) 生徒が「自分を育ててくれる」と感じる場所にするために
非常に残念なのはこの項目が低かったことである。本校を創り上げた先人達がこの結果を見たら果たしてどんなに嘆くであろう。教員全員が胸に手を当てて、もう一度考えてみるべき結果である。もし、自分が通うなら、「自分を育ててくれる」と感じられない学校に行きたいか?高校では3人に1人がそう感じている。この項目での信頼を得るために評価制度を導入すると同時に、この項目での評価を向上させるための講座を校内で開設し、教科指導における知識と技術を磨き、振り返る作業を行う。

【保護者からのアンケートで特に評価の低い項目】

質問番号	項目	思わない	
		中学	高校
4	子どもは韓国語(日本語)・英語の語学力が向上している	19.2	9.7
12	授業はわかりやすいようだ	15.4	9.7
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	11.5	9.7

*数値はすべて%

<分析>

保護者からのアンケートで特に評価の低かったのは、「語学」と「授業力」と「学力」の3項目であった。これも生徒からのアンケート結果と同じく、本校の強みとなるはずの項目である。本来、本校のような少人数校で保護者の方からアンケートをとる場合は、評価の低い項目にチェックしにくい傾向がある。それにもかかわらず、このような数値が出たことに対し、深刻に受け止めなければならないし、同時に危急の対策をとらなければならない。

1) 語学力<質問番号 4>

中学では約 2 割、高校では約 1 割の保護者の方が、**子供の語学力が向上しているとは感じていない**。

2) 授業力<質問番号 12>

中学では約 1.5 割、高校では約 1 割の保護者の方が**授業に対してわかりやすいとは感じていない**。

3) 学力<質問番号 13>

中学、高校ともに約 1 割の保護者の方が**学校に対し、生徒の学力を伸ばそうと努力しているとは感じていない**。

<対策>

前項(生徒アンケートの対策)に準じる

【教職員からのアンケートで特に気になる点】

質問番号	項目	とても思う	やや思う	思う	やや思わない	とても思わない
		1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	0	50	27.3
10	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	13.6	63.6	9.1	9.1	4.5
11	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	4.5	45.5	36.4	13.6	0
21	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	13.6	27.3	36.4	18.2	4.5
22	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような情報提供と支援体制がある。	13.6	22.7	40.9	18.2	4.5

*数値はすべて%

<分析>

教員のアンケートで着眼するべき点はまず、「目的」「プラン」「行動」「振り返り」のPCDAサイクルの中で最も重要である「目的」すなわち、本校の役割と使命が不明確である教員が多いということである。質問1の「建学の精神」いわゆる本校の特色が「とても浸透している」と感じている教員が0パーセント。同時に質問11「自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる」では「とても思う」はわずか4.5パーセントである。さらに質問10は「語学力」であるが、13.6%の教員がここにコミットメントできていないと感じている。また、生徒の結果でも取り上げたカウンセリング力、進路指導力、人間力を問う項目でも教員及び学校側自体がそこへの意識が足りていないことを露呈する結果となった。

<対策>

昨年6月、本校に新しく就任した理事長のもと「金剛学園3つのポリシー」を策定した。それによって「建学の精神」「本校の特色」「強み」がより明確となり、そのプロセスと結果に対して、教員評価制度を取り入れる。教員は多面的に評価され、評価項目は主に①生徒による授業評価②同僚による多面評価③コンピテンシー評価④自己達成評価である。特に③では教員としての資質、授業力、人間力が厳しく問われる。これらの評価は、前項の6項目に対する改善と取り組みにも大きく関係し、教員自身の意識改革にもつながる。また評価制度はPDCAサイクルで運用し、年度初めの目標設定内容及び進捗に関する管理職面談を年に数回行い、それらの結果を処遇に反映する。特に授業の質に関しては徹底的にプロとしての意識を持ち、常に改善、リニューアル、レベルアップができるように自分自身の刃を研ぐ。その一環として全教員が「7つの習慣」プログラムのファシリテーターになり、PDCAを常に意識して行動できる学校風土及び文化を創る。

2019 学年度 学校アンケート 生徒・保護者の意見

★生徒からの意見

<中学校>

- ・日曜日の行事はなくしてほしい。(参加ができないため)
- ・中学生もスクールバスに乗りたいです。
- ・体育館にエアコンをつけてほしい。
- ・遠足を増やしてほしい。
- ・いい学校だと思う。
- ・小学校 1 年生から通っているが、今の金剛学園はとてもよくなっていると思うし、充実していると思います。
- ・楽しいです。ずっと校長先生にいてほしいです。
- ・冬のコートは自由にしてほしい。
- ・平常点が 100 点中 30 点になっているのがいい。

<高校>

- ・自習室が欲しい。
- ・先生の効率が悪くてイライラすることがある。
- ・金剛塾をなくしてほしい。
- ・金剛塾ではなく、部活を優先させてほしい。
- ・バスケット部の顧問をもっと厳しく指導してほしい。

★保護者からの意見

<中学校>

- ・給食がおいしくしてほしい。
- ・子どもの学力を伸ばすために、先生ともっと相談しやすいと嬉しい。
学校での勉強が何よりも大切だと思うので。

<高校>

- ・いつも熱心に指導ありがとうございます。子供はとても楽しく学校に通い青春しています。留学もたくさんできてとても素晴らしいです。
- ・「授業がわかりやすい」は、先生によって差があります。
- ・子供は楽しく学校生活を送っています。それが何よりと感じています。
- ・韓国語と英語の能力を伸ばす授業や補習の機会をもう少し増やしてほしいです。
特に会話と検定。子供は楽しく学校生活を送っているので、遊学させて良かったと思っています。
- ・先生が明るく優しいので、子供ものびのびしているように感じました。
- ・充実した学校生活を送っています。いつもありがとうございます。各月行事の書面があると嬉しいです。
- ・英語も大事です。未来の子供に楽しく学ばせる。

学校関係者評価委員会報告

・実施日時:2020年7月4日(土) 午前10時~午後1時

・場 所:本校 会議室

・出席者

(教職員)

尹裕淑校長・鄭徳浩中高教頭・玄勝己小学校教頭・許應石事務長・花田昌美中高教頭補佐

(PTA実行委員会役員)

趙誠洙会長・上条和久副会長・宮本順美副会長・竹本昌子幹事長

(小学校)

・外国語(英語・韓国語)は検定試験の結果にも表れているように、イメージ教育の成果が出てきている。

・宿題及び家庭学習はいかに学校の授業を理解しているかに関わってくるので、授業中の理解度チェックには特に力を入れてほしい。

・学校独自の特色を発揮していることがよくわかった。

・緊急時にはミマモルメを活用し、児童の安全と健康には、引き続き重点をおいた指導をして頂きたい。

・少人数制の特色を生かし、一人ひとりの個性を伸ばす教育に今後も期待している。

・教員の指導力を上げるための研修などは、年に何回くらい、どのような内容で行っているのかが知りたい。

・勉強だけではなく、人間教育の部分でどのような取り組みを行い、その成果が出ているのかどうかも項目に加えてほしい。

・挨拶や礼儀、他人への思いやりのある人に育ってほしいと、私達、親は願っている部分と、また、勉強に興味を持って取り組んでほしいと、切実に願っているが、家庭との連携も必要であると、今回のデータを見て痛感した。この学校評価のデータをきっかけに、もっと家庭と学校との交流、連携ができるような機会を増やすことはできないか。例えば、校長による講演会など。

(中高)

・分析結果はあえて評価の低い項目に着眼し、弱点を克服しようと取り組んでいる学校の姿勢が強く感じられた。

・語学が強みであるにも関わらず、上達している実感をもっていない生徒が多いことに対する、次年度の対策(レベル別分班)を聞いて、今後の成果に期待している。

・アクティブラーニングを導入していることは知っていたが、なぜこんなに、主体性に関する項目が低いのか。次年度は「7つの習慣」を取り入れるということなので、具体的にどのような内容か、もう少し詳しく知りたい。

・授業がわかりにくいという生徒が中学で2割弱、高校で3割弱いることは、少し心配。先生方は授業の質を上げるための対策は次年度からではなく、早急に行ってほしい。

・少人数制なのに、生徒の3割から4割が先生に相談しやすいとは思っていないのはなぜか。いつも忙しそうにしている先生が多いと子供から聞いたことがあるが、生徒とは授業以外でどれくらい関わって下さっているのか。

・親としては、進路を見据えた学校選びをしたつもりでいたが、進路指導に満足している生徒が少ないようだ。

2020学年度は、進路に強い先生を採用したとのことなので、今後期待している。